

# 大学院生座談会

2026年6月8日 場所：都立科学技術高等学校

6月8日、本校で大学院生をお招きし、生徒との対話の機会を設けました。現在は大学院において研究を続けておられ、まさに研究の最前線で活躍される先輩との貴重なひとときとなりました。

本企画において最も重視したのは、**一方向の「講義」ではなく、双方向の「対話」**です。登壇者の話を一方的に拝聴するという従来の形式ではなく、生徒と研究者が同じ目線に立ち、近い距離で語り合う座談会形式を採用いたしました。生徒一人ひとりが抱く関心や疑問を出発点とし、対話を重ねるなかで、**科学という営みの実感**を少しずつ深めていく場となりました。

座談会では、主に次の3つのテーマについて議論を交わしました。

## ① これまでの歩み

高校時代に取り組んだ課題研究が、いかにして大学での本格的な学術研究へと接続していくのか。生徒たちが現に歩んでいるその先に広がる世界についてお話いただきました。

## ② モチベーションの保ち方


実験は思うようにいかないことのほうが多いものです。そうした壁に直面した際、いかにして意欲を立て直し、次の一手を見いだしていくのか。飾らない等身大の言葉に、生徒たちも深く聞き入っていました。

## ③ 社会とのつながり

「知りたい」という純粋な好奇心が、やがて世界の課題解決へとつながっていく。その大きな広がりについても、じっくりと語り合いました。

研究者の率直な言葉に、生徒たちが目を輝かせる場面が幾度も見られました。本日得た知的な刺激が、これからの探究活動の原動力となることを願っております。生徒にとってたいへん有意義な座談会となりました。

7月には理系女子発表交流会を企画しています。研究職の方からのキャリア講演会も行います。興味のある生徒のみなさんは**（中学生も可）**、ぜひ申し込みをしてください！



## 研究者特別座談会

研究を続けていくとは  
— 高校から大学、そして未来へ —

今回は、高校時代に「海洋生物」の研究に没頭し、現在も大学で最前線の研究を続けている津島さんをお招きします。  
この特別座談会は「講義」ではなく、先輩研究者と近い距離で語り合う「対話」の場です。皆さんの興味・関心を直接ぶつけてください。

【当日のテーマトーク】

- これまでの歩み（高校の探究が、どう大学へ繋がるのか）
- モチベーションの保ち方（研究への熱意を保つのか）
- 社会とのつながり（研究は、世界とどうリンクするのか）



座談会の様子